

地域密着型金融（令和3年度）の取組み状況

令和3年度における当金庫の地域密着型金融の取組み状況をお知らせいたします。

1. 全体的な取組み状況

令和3年度の事業計画に基づき「地域密着型金融」に係る諸施策について、役員が一丸となり積極的にその推進に取り組んでまいりました。その結果、全体的としては概ね順調な推進を図ることができました。

「健全経営を堅持し、地域社会の繁栄とお客様の利益および満足のために心から奉仕する」ことを基本方針とする当金庫としては、地域の中小企業・個人事業主・生活者に対して持続性のある事業環境や安定した生活環境を提供するため、①地域密着型のコンサルティング営業の推進、②働きやすい職場づくり、③プロフェッショナルな人材の育成について取り組みました。

2. 具体的な取組み状況

①地域密着型のコンサルティング営業の推進

a. 事業者に対するニーズの把握と支援態勢の整備強化

【取組み内容】

新型コロナウイルス感染症の影響拡大を受けて、金庫独自商品である「新型コロナウイルス緊急対策資金」および富山県制度融資の「新型コロナウイルス感染症対応資金」、「ビヨンドコロナ応援資金」による積極的な資金繰り支援に取り組みました。

また、事業承継や創業支援、各種補助金の策定支援など、あらゆる経営課題に対し外部専門家や外部機関との連携態勢を構築し支援に取り組みました。

【成果(効果)】

新型コロナウイルス感染症対策の資金繰り支援では、実行件数計46件、実行金額計579百万円となりました。外部専門家や外部機関との連携では、富山県事業承継・引継ぎ支援センターや中小企業診断士等との協調により、各種相談会や個別相談を通じて経営課題の解決に取り組みました。

「事業承継に係る個別相談会」では4事業者からの相談がありました。また、「富山県中小企業リバイバル補助金」および「事業再構築補助金」などに関し14事業者から相談がありました。富山県中小企業診断協会の連携企画「中小企業無料経営相談会」では、販路拡大や経営改善に関する相談に5事業者が参加され、また、中部経済産業局主催による「経験値活用型サポート人材交流会」には1事業者の参加がありました。

b. 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

イ. 事業性評価融資の取扱い

【取組み内容】

取引先企業が置かれている内部・外部環境と事業の特徴や成長可能性等を把握し、経営者が考える事業方針とその企業の経営課題を共有した上で必要な手段を有効に推進する事を目的として事業性評価による融資の取扱いを実施しています。

【成果(効果)】

令和3年度中における事業性評価融資実績は、20件522百万円となりました。引続き適時適切に対応する方針です。

ロ. 経営改善支援

—債務者区分のランクアップ—

【取組み内容】

令和3年度は経営改善支援先34先(うちランクアップ見込先2先)を選定しました。取引先との共通認識のもと債務者区分のランクアップと経営改善支援に積極的に取組みました。

【成果(効果)】

34先中1先のみがランクアップとなりました。低調な結果となりましたが、引続き経営課題の解決に向けたコンサルティングに取り組む方針です。
—要注意先以下の債権の健全化—

【取組み内容】

債務者区分が「その他要注意先・要管理先」、「破綻懸念先以下」の先について、整理改善方針を作成し営業店と本部が共通認識を持ち、該当先に整理改善指導を図りました。

【成果(効果)】

少しずつではありますが改善が図られております。なお、一気に健全化が図れるものではなく、日々の地道な積み重ねが必要と考えております。

※ 新型コロナウイルス感染症により影響を受けた事業者に対し、その経営状況やライフステージに応じた適切な金融支援に引続き取り組んでいくとともに、ポストコロナにおける事業者のビジネスモデル再構築に向けた経営改善・事業再生・事業転換支援等の課題解決を図っております。地域金融機関としての使命に徹し、あらゆる経営課題に寄り添い解決に向けた取組みを今後も実施する方針です。

—ビジネスマッチングへの支援—

【取組み内容】

北陸地区信用金庫協会主催の「特別商談会 2021in 富山」において、当金庫からサプライヤー企業の参加はありませんでしたが、城南信用金庫が主催し実施された「第1回 EC 販路拡大商談会」に参加した1事業者および信金中央金庫が提供するビジネスマッチングサイト「しんきんコネクト」にエントリーした2事業者に対し販路拡大に向けた機会提供と支援を行いました。

【成果(効果)】

実績には結びついておりませんが、継続して取引事業者に対し積極的な情報提供と支援に取り組む方針です。

c. 個人取引への積極的推進

【取組み内容】

優遇キャンペーン商品の発売のほか、結婚・出産情報および消費者ローンのWEB完結システムなどを活用して、若い世代との取引拡大に取り組ま

した。

【成果(効果)】

優遇キャンペーン商品に関しては、預金・融資ともに多くの取引先で活用いただき、基盤拡充の面でも大きな成果があったものと判断しています。また、結婚や出産された先に対しては、訪問ツールとしてお祝いの手紙と記念品を準備し、新聞等から情報を得て 60 先へ訪問を実施しました。「WEB 完結型ローン」では 76 件の申込みを受付け、特に若年層の新規取引拡大に繋がりました。

d. 貸出先の積極的な開拓・深耕

【取組み内容】

「顧客をよく知る」、「既存取引先との関係を構築し、新たな取引先を紹介してもらえる」を経営目標にして融資基盤の増強に取り組みました。

【成果(効果)】

「顧客をよく知る」では、事業者を対象に 25 先の「事業性理解シート」を新規作成しました。また、新たな取引先の紹介では 26 先の実績がありました。引続き、きめ細かい Facetoface の営業活動により、他金融機関に対する優位性を発揮して基盤の拡充に取り組む方針です。

②働きやすい職場づくり

【取組み内容】

当金庫内における顧客情報の共有の徹底、職員のスキルアップ、業務フローの改善を通して、役職員全員が、働きやすく、休暇の取りやすい職場づくりに取り組みました。

【成果(効果)】

顧客情報の共有では、当金庫グループウェア掲示板および店内情報連絡票を活用して行い、グループウェア掲示板への書き込みは 31 件、店内情報連絡票の作成枚数は 336 枚となりました。

職員のスキルアップでは、店内研修やロールプレイングを 61 回実施して能力向上に取り組みました。

業務フローの改善では、「業務改善提案実施要領」に基づき、広く職員から改善提案を募り、担当部会・主管部署で検討し、今年度は 2 件の事務手続に関する業務の改善と効率化を図りました。

③プロフェッショナルな人材の育成

【取組み内容】

人材の育成は事業継続の根幹をなすものであり、これまでも外部派遣研修、通信研修等を実施し能力の向上を図ってきました。経験年数に応じたの必要な資格、通信講座を示すことで、積極的かつ適切な自己啓発を促し、職員の知識向上に取り組みました。

【成果(効果)】

令和 3 年度教育訓練計画に基づき、北陸地区信用金庫協会主催の研修に 16 講座 17 名(延べ 45 日間)が受講しました。また、金庫内研修では外部専門家や外部機関が主催するオンラインセミナー等を活用して事業者の

経営課題に対するノウハウやスキルの習得に取り組みました。

地域密着型金融に関する会議・説明会等では、オンライン会議を含め積極的に出席し、情報収集や情報交換等を行いました。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

a. 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面的再生」への取り組み

イ. 情報機能やネットワークを活用した取り組み

【取り組み内容】

- ・全国信用金庫協会、信金中央金庫からの「地域活性化情報」、「ビジネスマッチング情報」、「景気動向調査」、「経営情報」等による情報を店頭、渉外活動を通じて積極的に取引先に提供しました。
- ・地域密着型金融に関する研修・会議等に積極的に参加し、情報の収集を図りました。

【成果(効果)】

- ・令和3年4月 富山版「プロフェッショナル・副業兼業人材確保プロジェクト」に参画し、賛同する民間人材ビジネス事業者計15社とビジネスマッチング契約を締結しました。
- ・令和3年7月 信金中央金庫が運営する創業支援プラットフォーム「しんきん創業の扉」に参画し、同サイトのコンテンツを活用して潜在的なニーズの掘り起こしに取り組みました。
- ・令和3年7月 業務提携する中小企業診断士を講師に職員を対象とした「補助金制度にかかる勉強会」をWEBで開催しました。
- ・令和3年10月 信金中央金庫が提供するビジネスマッチングサービス「しんきんコネクト」を導入し、取引事業者の販路拡大支援に取り組みました。
- ・令和4年3月 「石動信用金庫 SDGs 宣言」を公表し、地域の課題や環境問題の解決に取り組むこととしました。

地域密着型金融に関する研修・会議等に積極的に出席し、情報収集を図るとともに必要に応じて情報提供を行いました。

b. 地域活性化につながる多様なサービスの提供

イ. 会員・顧客の利便性向上への取り組み

【取り組み内容】

社会的なニーズ、会員・地域住民のニーズを的確に把握し、適時適切な施策に取り組み、地域の活性化と会員・地域住民の負託に応えていくこととしました。

【成果(効果)】

- ・令和3年4月 利用者満足度向上に係るアンケート調査の実施。
- ・令和3年6月 信用金庫の日に合わせ富山県信用金庫協会の収集ボランティアとしての古切手収集品を県ボランティアセンターへ贈呈。

- ・令和3年12月 年末資金繰り「休日金融相談窓口」の開設(11日～12日)。
- ・令和4年3月 年度末資金繰り「特別金融相談窓口」の開設(7日～18日)。

■ 経営改善支援等の取組み実績

【 令和3年4月～令和4年3月 】

(単位:先数)

(単位:%)

	期初 債務者数 A	うち 経営改善支 援取組み先 数 α	αのうち期末	αのうち期末に	αのうち再生	経営改善 支援取組 み率 α/A	ランク アップ率 β/α	再生計画 策定率 δ/α
			に債務者区分 がランクアップ した先数 β	債務者区分が ランクアップし なかった先数 γ	計画を策定し た先数 δ			
正常先 ①	1,455	5			0	0.3%		0.0%
要注 うち その他要注 意先 うち 要管理先 ②	68	21	1	20	20	30.9%	4.8%	95.2%
破綻懸念先 ③	1	0	0	0	0	-	-	-
破綻懸念先 ④	17	8	0	8	8	47.1%	-	100.0%
実質破綻先 ⑤	8	0	0	0	0	0.0%	-	-
破綻先 ⑥	3	0	0	0	0	0.0%	-	-
小計 (②～⑥の計)	97	29	1	28	28	29.9%	3.4%	96.6%
合計	1,552	34	1	28	28	2.2%	2.9%	82.4%

【 令和3年4月～令和4年3月における取扱実績 】

(単位:件、百万円)

項 目	件 数	金 額
創業・新事業支援	3	12
「新型コロナウイルス緊急対策資金」、「経営サポート資金Ⅱ」	18	100
国及び県の緊急融資保証制度	26	461